1. 私の夢は、「人を感動させるゲームを作ること」です。そのためにも現在

はゲームプログラマーとなることを目標とし、日々努力を重ねています。

1. 私がこのような夢を持ったわけは、なにより私自身がゲームに感動したからです。きっ

かけであるゲームをプレイして、ゲームの面白さにも感動しましたが、同時にゲームに秘められた可能性にも感動しました。ゲームというものはこれほどまでに人の心に影響を与えることができるのか。私自身、大変感動し自分の世界が広がる思いをしたため、ゲームの持つ可能性を知りました。私もこのような人を感動させることが出来るゲームを作ってみたいと思い、それが今では夢となりました。

また、自分で実際にゲームを作るようになってからは、自分の想像していた以上に可能性があることを知りました。技術を身に着けるほど、できる事が増え、与えられる影響は大きなものになっていく。これらを感じたことから、私はさらに技術力を高め、もっと人に影響を与えるゲームを作りたいと目指すようになりました。

③現在は、この夢を成就させるためにも私は、様々なことに挑戦し努力をしています。

学業は当然のこと、就職を有利にするためにもプログラム関係の資格を取得したり、

献血などのボランティアに何度も参加しています。ただやはり、なによりプログラミング技術を磨くことに張り切っております。

新しい技術を身に着けるためにも、「一週間一作品」を目標に個人の作品を何個も制作したり、放課後の自習のために残ったクラスメイト達と、お互いの作品を評価し合い、技術を高め合ったりしています。

1. 今は、コンテストで結果を残せるような作品の制作をしています。

結果にも過程にも実りのあるような作品作りを意識して、実績を残せるように尽力を尽くしています。

⑤　今後も、この夢に向かう思いを腐らせずに、さらに努力をし、夢を実現できるように精進いたします。